2025

Recruit Guide

Kanto Bureau of Economy, Trade and Industry

広域関東圏から日本を元気に

経済産業省
関東経済産業局

職員採用に関しては

関東経済産業局　総務企画部　総務課　人事係

〒330-9715　埼玉県さいたま市中央区新都心1-1
さいたま新都心合同庁舎1号館 9階

☎048-600-0214(直通)

メールアドレス：bzl-recruit-kanto@meti.go.jp

新規採用職員募集案内：
https://www.kanto.meti.go.jp/annai/saiyo/shinkisaiyo_index.html

関東経済産業局へのアクセス

- JR京浜東北線、宇都宮・高崎線
  「さいたま新都心」駅　下車徒歩約5分
- JR埼京線「北与野」駅　下車徒歩約10分

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断を満たす紙を使用しています。

関東圏の現場から描く日本の未来

皆さんが実現したい理想の未来像は何ですか？「人々の暮らしを豊かにしたい」、「自分の故郷を元気にしたい」など、皆さん一人ひとりにとっての理想の未来像があるでしょう。一方で世の中に目を向けると、人口減少や少子高齢化等を背景とした働き手の減少や世界情勢の変化に伴う物価上昇など、予断を許さない経済状況が続いており、理想の未来像を実現するために取り組むべき課題はたくさんあるといえます。

関東経済産業局では、地域経済の活力を維持するための好循環サイクル実現を目指し、企業の稼ぐ力の向上や地域の雇用維持・賃金上昇を通じて、安全・安心に暮らせる地域社会作りに寄与する取組を行っています。具体的には、地域企業の経営基盤強化、人材の確保・活用、オープンイノベーションの促進、デジタル化支援、カーボンニュートラルへの対応などの様々な政策を展開し、地域企業や自治体など地域の皆さまの取組を後押ししています。

私たちがこれらの取組を行っていく上で常に大切にしているのが「現場」です。机上の議論だけではなく現場に足を運ぶことで初めて見えてくる地域や企業の課題もあります。現場の真実に向き合い、人との関係性の中から得た現場の生の声を政策に反映していくことが我々のミッションであり、仕事の醍醐味でもあります。

関東経済産業局がこうした役割を果たし地域から信頼される組織であり続けるためには、組織を支えている職員一人ひとりを大切にし、個の力を高めるための育成を実践していくことが重要です。弊局では、人材育成計画に基づく様々な研修メニューを用意しているほか、自分の担当以外の業務にも挑戦する兼業プロジェクトも開始し、職員の新たな挑戦と成長を促しています。

職員がより良い仕事ができるよう働き方改革にも取り組んでおり、立場や経験にかかわらず誰もが自由に意見を言い合える「心理的安全性」の高い職場を目指しています。また、休暇の取得促進や定時退庁の励行はもちろんのこと、男性の育児休暇、テレワークやフレックスといった制度により、様々なライフステージの職員が活躍し成長できる職場環境を整えています。こうした取組の１つ１つが、この組織の特色でもある「風通しの良い職場」に繋がっているのではないでしょうか。

このパンフレットを手にしている皆さんは、就職先の選択という大事な場面に直面しています。ご自身のキャリアを考える上でも、是非中身に目を通していただき、弊局の業務説明会に足を運んでみてください。きっとそこには、地域経済、ひいては日本経済の未来のため、誇りを持って数々の現場に足を運んできた職員の姿があるはずです。私たちと一緒に、関東圏の現場から理想の日本の未来を描き、創造していきましょう。

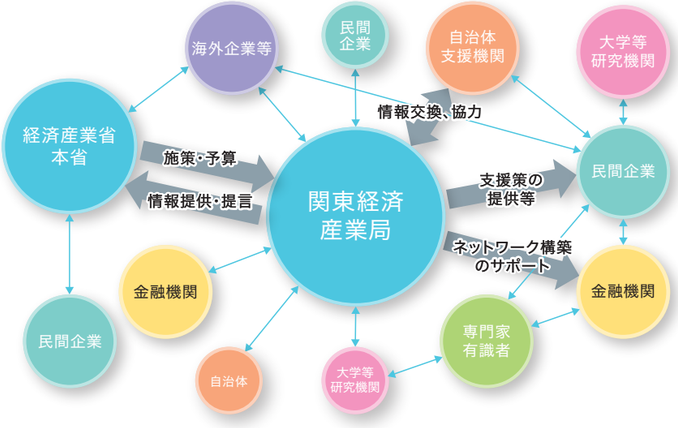
総務企画部　総務課長　志村典彦

overview

事業者支援のため「橋渡し役」として活動しています。

関東経済産業局は全国８箇所に設置されている経済産業省の地方ブロック機関であり、広域関東圏（1都10県＝茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県）を行政の区域にしています。

私たちは、この地域の最前線で活躍されている企業、大学、自治体、消費者、関係機関等の皆様に対して、中堅・中小企業の成長支援、起業・創業の促進、中小企業の経営力強化や取引の適正化、文化資源を活用した地域経済の活性化、中小企業の海外展開支援、エネルギーの安定供給、カーボンニュートラルの推進、消費者が安全に暮らせる社会の実現など、様々な経済産業政策の実施に取り組んでいます。また、政策を実施するだけでなく、皆様からの現場のニーズやご要望をキャッチして、使い勝手の良い政策への改善や新たな政策提案に努めています。



日本経済の4割を占める「広域関東圏」

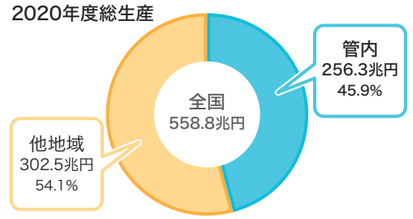
首都圏を含む広域関東圏は、日本経済の約４割を占める経済圏です。

その規模は、インドやフランスに次いで、世界８位相当の経済規模を誇っています。

ここには、世界トップレベルの科学技術・研究機能、高度な製造技術や専門知識を有する優秀な企業や人材が多数存在しており、新産業や雇用を創出する「我が国最大の苗床」機能があります。

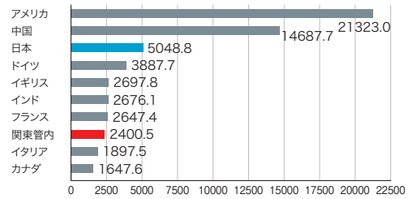
我が国経済の産業競争力強化や活性化を図るためには、創業や新事業分野に果敢に挑むチャレンジャーをこの地域から輩出していくことが鍵といえます。

2020年度総生産



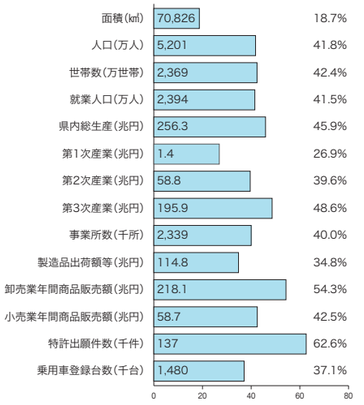
出所:内閣府「令和2年度県民経済生産」

管内総生産の国際比較



出所:内閣府「令和2年度県民経済計算」、総務省「世界の統計2023」
注1:管内総生産換算レートは世界の統計より（1ドル=106.77 円）
注2:管内以外は暦年

管内経済の主な指標



出所:面積:国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」/人口:総務省（令和5年）「人口推計」/世帯数、就業人口:総務省「令和2年国勢調査」/県内総生産:内閣府「令和2年度県民経済計算」/事業所数、卸売業年間商品販売額、小売業年間商品販売額:「令和3年経済センサス－活動調査」/製造品出荷額等:経済産業省　2022年「経済構造実態調査（製造業事業所調査）」/特許出願件数:特許庁「特許行政年次報告書2023年版」/乗用車登録台数（令和5年):日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会

contents

04｜組織紹介　06｜キャリアパス紹介　10｜期待の新人紹介　12｜技術系職員の活躍　13｜関東経済産業局の枠を超えて　14｜人材育成と能力開発　16｜働きやすい職場を目指して　18｜職員の1日　19｜よくある質問

organization introduction

組織紹介

総務企画部

総務課
局の所掌事務に関する総合調整、事務能率の増進、職員の人事・研修

危機管理・災害対策室
局の所掌事務に係る危機管理・災害対策に関する事務

政策評価広報課
政策評価、公文書類管理、広報、情報システム整備・管理

情報公開推進室
情報公開、個人情報の保護に関する事務

企画調査課
地域政策等に関する基本的な政策の企画及び立案並びに推進

経済調査室
生産動態統計等の解析、地域経済動向の分析・公表

会計課
経費及び収入の予算・決算、行政財産の管理、物品の調達、福利厚生

国際課
海外展開支援、輸出入の促進、対内・対外投資の促進

貿易管理室
輸出の許可・承認、輸入の事前確認・関税割当

電力・ガス取引監視室
電気・ガス事業の監査

地域経済部

地域経済課
部の事務の総合調整

競争環境整備室
競争紛争の通報処理、競争政策

金融連携推進室
地域金融機関と連携した中小企業の経営力強化支援

経済社会政策室
社会課題解決ビジネスの創出・成長支援

ヘルスケア産業室
ヘルスケア・医療機器産業の振興

産業人材政策課
中小企業の人材確保・育成・定着支援

産業技術革新課
技術基盤の向上支援、技術開発の環境整備／産学官連携、オープンイノベーションの促進／創業・スタートアップ支援／JISマーク表示制度の適正運用（産業標準化法）に関すること

知的財産室
知財活用の普及促進

地域振興課
地域の自治体・産業支援機関との連携による企業等支援

地域企業支援室
地域における中堅・中小企業の成長支援

企業立地支援課
産業立地の推進、工業用水等インフラの整備

地域未来投資促進室
地域未来投資促進法等の活用を通じた企業支援、地域未来牽引企業支援

デジタル経済課
デジタル技術の利用促進、半導体産業支援

産業部

産業振興課
部の事務の総合調整、競輪・オートレースの指導・監督

アルコール室
アルコール事業に関する事務

中小企業金融検査室
信用保証に関する検査

消費経済課
消費者取引の適正化（特定商取引法に関すること）

消費者相談室
当省所管の法律や製品に関する消費者トラブル等に対する助言

製品安全室
消費生活用製品等の安全確保

商務・取引信用課
消費者取引の適正化（割賦販売法に関すること）

商品取引室
商品先物取引に関する検査

製造産業課
生活・機械・基礎産業の振興、化学物質等の規制

航空宇宙・自動車産業室
航空宇宙・自動車産業の振興

流通・サービス産業課
流通業務効率化に関する業務／サービス産業の振興

商業振興室
中心市街地の活性化、中小小売商業・商店街の振興、大規模小売店舗立地法の相談

地域ブランド展開支援室
地域ブランドの展開支援

適正取引推進課
下請取引の適正化、下請事業者等の振興、下請ヒアリング、官公需支援

中小企業振興グループ

中小企業課
中小企業の施策普及／経営力向上に関する業務／事業継続力強化等の支援

中小企業相談室
中小企業施策に関する御意見・お問合せ等

中小企業金融課
中小企業の金融、再生支援、円滑な事業承継の支援

経営支援課
中小企業の経営支援／小規模企業振興、商工会・商工会議所の指導・監督、中小企業の組織化／支援機関の認定／よろず支援拠点に関する事務

資源エネルギー環境部

資源エネルギー環境課
部の事務の総合調整／地域のエネルギー・温暖化対策の推進

総合エネルギー広報室
エネルギーに関する広報

カーボンニュートラル推進課
2050年カーボンニュートラルの実現に関する事務、J-クレジット制度の推進

環境・資源循環経済課
資源の循環利用等（リサイクルの推進等）の促進、資源循環経済（サーキュラーエコノミー）の促進

省エネルギー対策課
省エネルギーの推進

新エネルギー対策課
新エネルギーの導入促進／再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT制度）、太陽光発電設備等の設備認定

電力事業課
電気事業に関する許可・届出、自家用発電所に関する調査・統計、電源立地地域の振興

資源・燃料課
石油製品の流通の改善及び調整・指導、鉱業権の出願・登録、鉱山及び採石、砂利採取に関する事業の指導

ガス事業課
ガス市場の整備、ガス事業の運営の調整、ガスに関する調査・統計

事務所

横浜通商事務所
輸出の許可・承認、輸入の事前確認・関税割当

職員数：365名

男　性	244名	女　性	121名
事務官	304名	技　官	61名

令和7年1月1日時点

経済産業省
関東経済産業局

キャリアパス紹介

関東経済産業局では、入局後に様々なポストを経験し、キャリアパスを歩んでいきます。今回は様々な年代の職員からにこれまでのキャリアを紹介してもらいます。

係員 | 係長 | 補佐 | 課長

総務企画部　国際課

平成31年度採用・行政

国境を越えた ビジネスチャンスの拡大に向けて

急激なグローバル化と国内市場の縮小が進む今、地域企業が海外へと展開する必要性はますます高まっています。国際課では、企業の事業ステージに応じた支援施策の紹介をはじめ、海外展開を積極的に後押ししています。さらに、ベトナムにおける環境マネジメント制度の導入支援など、海外地方政府との共創案件の創出にも取り組んでいます。日本の技術や知識を新興国に移転し、新たなビジネス環境を整備することで、新興国の経済成長とともに日本企業のビジネスチャンス拡大を目指しています。国や地域を超えて様々な人との出会いがあり、共通の目標に向かって取り組む達成感があります。また、課題解決に向けて独自のアイデアを提案する機会も多く、やりがいをもって取り組んでいます。

私たちと一緒に地域の活力を 引き出しませんか?

入局の決め手は、事業者支援の橋渡し役である当局に無限の可能性を感じたことです。期待通り、経営相談窓口の整備や空き家の活用による創業支援など、政策の企画立案・運営を通して、幅広い経験を積むことが出来ました。これは、「自由にやってみて」と背中を押してくださる上司や先輩のサポートあってこそだと感じています。また、「事業が軌道に乗った」という地域の方からの感謝の言葉は、取り組みの意義を再認識させるとともに、更なる行動力の創出とモチベーション向上につながっています。このように当局は、自分の想いを形にし、地域の未来に貢献できる環境が整っています。これからも柔軟な発想で、地域の更なる発展に寄与する職員でありたいと思っています。

地域経済部　地域振興課
地域企業支援室

令和2年度採用・行政

成長意欲の高い中堅・中小企業の 「稼ぐ力」の強化

政府は2024年を「中堅企業元年」と位置づけ、中堅企業から大企業への成長や、中小企業から中堅企業への飛躍的成長を促進するため、国内の大規模投資や中堅企業による中小企業のグループ化を後押ししています。地域企業支援室では、そのような成長意欲の高い中堅・中小企業の発掘や、お困りごとを聞きながらニーズにあった支援をご提供するなど、企業の御用聞きとして日本全国を飛び回っております。私は現場の声を政策につなげることができる立場として、企業が成長に必要なものは何か、また企業の成長を如何に地域へ波及できるか、日々考えています。

地域支援の最前線!

国という広い視点を持ちながら、現場に近い仕事ができることに面白さを感じ、入局しました。私はこれまで、部全体の取りまとめや広報などを担当しつつ、本省で地域政策を考える部署を経験しましたが、実際に経済産業局は現場との関わりが深いと感じています。地域経済の活性化のためには、何が必要なのか。自分なりに仮説を立てて、現場に出て、地域の企業や支援機関などの声を聞いて答え合わせをしながら、政策を考えていくことができます。局があることの意義を自分なりに考えながら、国と地域の結節点として、なくてはならない存在になれるよう、全力で取り組んでいます。

係員 | 係長 | 補佐 | 課長

産業部　流通・サービス産業課
地域ブランド展開支援室　係長

平成17年度採用・行政

伝統的工芸品の歴史をつなぐ

伝統的工芸品を知っていますか？伝統的工芸品は一定の条件を満たし、法律に基づく経済産業大臣の指定を受けた伝産品であり、全国に240品目以上あります。江戸切子や輪島塗など、一度は目にしたことがあるのではないでしょうか。100年以上もの長い間継承されてきた伝統技法で作られる伝統的工芸品は、日本が世界に誇る文化の一つです。流通・サービス産業課地域ブランド展開支援室では、伝統的工芸品産業の振興を図るため、産地における職人の育成や確保、海外等の新たな需要獲得等に向けた取組を支援しています。伝統的工芸品産業がこれからも続いていくためには、伝統を守っていくとともに社会環境の変化に対応していくことが重要です。当室の支援が伝統的工芸品の長い歴史を未来へつなげる一助となればと思い、日々の業務に取り組んでいます。

多岐にわたる業務と現場の近さ

当局では、地域産業振興、消費者行政、国際業務やエネルギーの安定供給等、非常に幅広い業務を行っています。そのため、異動する際にはそれまでとは全く違う業務を担当することも多く、法律や制度を一から勉強する必要があります。大変な面もありますが、異動の度に新しい知識や経験を増やすことができ、年次を重ねても新鮮な気持ちで業務に取り組むことができます。また、当局では地域企業や自治体、支援機関等、地域の様々な関係者とともに業務を進めることが多く、現場に近い距離で地域とともに課題解決に取り組むことができるのも当局の魅力の一つであると思います。

資源エネルギー環境部
カーボンニュートラル推進課　係長

平成22年度採用・技術(化学)

関東経済産業局が取り組む カーボンニュートラル

カーボンニュートラル推進課(CN課)では、政府の予算等CN政策や、関連技術等の動向を調査しながら、今、そして将来何をすべきか／何ができるかを企業、自治体等と日々対話、議論することで、温室効果ガスの排出削減、産業の競争力強化を目指しています。私は主に水素、アンモニアといった次世代のエネルギー担当として、これらがどう産業・社会に展開していけるか、政策・技術とも日々進展がある中、様々な関係者と「次世代エネルギーをつくる〜つかう」の可能性を追求しています。霞ヶ関の政策と、企業、自治体の現場・生の声を橋渡しし、次の一手を考える。日本の、世界の未来のため、スケールの大きな世界で仕事できている私は、日々ワクワクしています。

カーボンニュートラルは、 専門的で難しい << 刺激的で楽しい

日本の名だたる企業と日々エネルギーの将来可能性について打合せをしているほか、発電所や製油所等、現在の私たちのエネルギーを支える現場や、太陽光・風力・バイオマス等の再生可能エネルギーはもとより、水素・アンモニアや、温室効果ガスであるCO2を資源にするカーボンリサイクル等、CNの先進的な取組を高頻度で見学させていただく機会があります。これらがいずれも業務を進める中で印象深く、刺激となっています。

メンバー皆、カーボンニュートラルに何ら知見のないところからスタートして、1年たてばその部署のベテランに扱われるほどバリバリ業務をこなせていますので、安心してこのダイナミックな世界に飛び込んできてください。

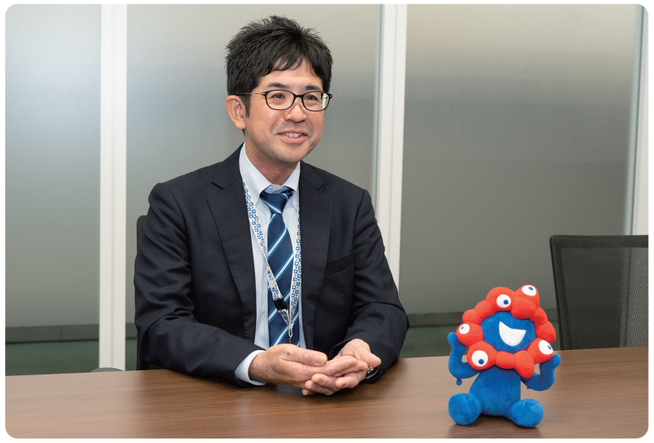
キャリアパス紹介

係員　係長　**補佐**　課長

産業部　中小企業振興グループ
中小企業課　課長補佐

平成15年度採用・行政

経歴
- 平成15年 4月　産業企画部産業企画課
- 平成16年 4月　地域経済部地域経済課
- 平成17年 4月　産業部流通・サービス産業課商業振興室
- 平成19年 5月　資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力基盤整備課（出向）
- 平成21年 5月　地域経済部地域経済課産業立地室
- 平成24年 4月　地域経済部企業立地支援課
- 平成24年10月　産業部中小企業課
- 平成26年 7月　関東財務局理財部（出向）
- 平成28年 7月　総務企画部会計課
- 平成30年 7月　産業部中小企業課
- 令和 2年 4月　総務企画部総務課
- 令和 3年 4月　かすみがうら市理事（出向）
- 令和 6年 4月　産業部中小企業振興グループ中小企業課政策企画委員



各種支援策を活用した「地域企業の経営基盤の強化」

中小企業が設備投資等に取り組む「経営力向上計画」、防災・減災に関する計画を策定する「事業継続力強化計画」など、様々な支援策を活用して、地域企業の経営基盤の強化に向けた取組を支援しています。また、経営上の様々な相談に対応する経営相談所の設置や、商工団体などの支援機関等と連携した支援体制の強化など、様々な角度から地域経済を元気にする取り組みも行っています。地域が元気になれば、日本が元気になる！をモットーに、積極的に現場に足を運び、地域経済の活性化を意識して取り組んでいます。

地域経済発！地域が元気になれば、日本が元気になる！

私は、商店街等のまちづくりの振興に興味があり、地域経済の活性化に携わることや、地域の賑わいを生む仕掛け作りをしたいと思っていました。また、好奇心旺盛な性格から、色々な業務に携わり、多くの人と出会って様々な経験を積みたいと思っていました。そんな私に、経済産業局はぴったりな職場でした！経済産業局は現場に近いことが魅力と感じています。机に向かっているだけでは感性（現場力）も磨かれません。管内1都10県の様々な地域に足を運び、地域の団体や企業の方との対話を通じて、地域の魅力や抱える課題を肌で感じました。既存の支援策を活用した企業課題の解決はもとより、自ら考えた事業アイデアを実行することで、地域経済の活性化に貢献できることも、現場に近い当局の魅力であり、強みだと思います。

自治体への出向によって感じた地方創生の魅力！

自分が関わっている政策が、地域でどのように活用されているか、自分の目で見て感じたいという思いが強くなり、地域への出向を希望しました。念願叶い、茨城県かすみがうら市役所へ出向となったのですが、地域内外の多くの方と官民の垣根を越えて様々なプロジェクトを立ち上げ、地域課題の解決に取り組みました。とにかくやってみる、前例がなければ作ればいい、が私のモットーです。高校生を対象にした起業家教育、大学と連携した古民家再生やフードロス削減など、経産省の枠組みにとらわれない幅広い活動を行いました。地域の方々と、地域を元気にする様々な活動が出来たことへの喜びを実感しています。地方創生の活動にやりがいを感じ、派遣終了後も、古民家再生やバイオマス利活用等の取り組みに参加し、地域の方々との交流を続けています。

やりたいことにチャレンジし、自分の思いを形にしよう！

風通しがよく、年代問わずに自ら考えた企画アイデアなども発言しやすい働きやすい職場で、自発的に業務に取り組める環境だと感じます。地域が抱える課題は多い一方、地域にはたくさんの資源や魅力もあります。

皆さんのアイデアと行動力によって、地域経済が元気になり、地方創生につながります！

地域に目を向けてみませんか？一緒に現場に出てみませんか？

好奇心旺盛な皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！

係員　係長　補佐　**課長**

総務企画部
政策評価広報課　課長

平成3年度採用・行政

経歴
- 平成 3年 4月　公益事業部施設課
- 平成 5年 4月　商工部流通課
- 平成 7年10月　総務企画部会計課
- 平成 9年10月　通商産業省大臣官房調査統計部企業統計課（出向）
- 平成11年10月　産業企画部環境保安課
- 平成13年 5月　資源エネルギー部資源エネルギー課
- 平成15年 7月　資源エネルギー部ガス事業課
- 平成21年 4月　資源エネルギー環境部電力事業課
- 平成23年 5月　地域経済部新規事業課
- 平成25年10月　資源エネルギー環境部省エネルギー対策課
- 平成28年 6月　総務企画部総務課
- 平成30年 4月　総務企画部企画調査課経済調査室長
- 平成31年 4月　資源エネルギー環境部省エネルギー対策課長
- 令和 4年 4月　産業部商務・取引信用課長
- 令和 6年 4月　総務企画部政策評価広報課長

局の“縁の下の力持ち”、政策評価広報課です。

局内には様々な仕事があります。その中でも政策評価広報課は全ての課室にかかわり、全ての職員と接点のある、局を支える課の一つです。具体的に業務を上げると、公文書管理や郵便業務、ホームページなど広報業務、情報機器の管理や情報セキュリティ、情報公開窓口も担当しています。さらに局の組織理念を実現すべく毎年取り組んでいる政策評価・業務見直しプロセスもあります。これが一番課名に近い業務かもしれません。

業務が多岐にわたることから管理職は2名体制です。お互い協力しながらマネジメントを行い、課員のパフォーマンスがしっかり発揮でき、気持ちよく働ける職場を目指しています。

入局は縁、仕事を通じて発想が広がります。

入局を決めたのは、何度かの面接を経てなんとなく面白そうという直感でした。裁判所事務官を志望していたので大きな方向転換でしたがなぜか迷いはありませんでした。そして、最初の配属先は、電気保安を担当する部署でした。今なら仕事の幅を広げる大きなチャンスと捉えられますが、入局したての私は馴染みのない部署への配属にとても悩んだことを覚えています。

そうこうするうちに恵まれた人間関係によって職場が楽しく、業務にやりがいも感じられるようになりました。2年後に異動内示を頂いた際には、もうしばらくこの仕事を続けたいと思えるほどでした。振り返ってみればこの最初の2年間がなければ、エネルギーという視点から地域経済を考えるという発想は持てなかったと思います。

法執行業務は、法の趣旨とビジネスのしくみを学び、よりよい社会を守ります。

商務・取引信用課では、いくつかの法律を扱っていましたがそのうちの一つに割賦販売法がありました。簡単にいうと互助会、友の会、クレジットカード決済などを行う事業者を監督指導する業務です。これら事業者が提供するサービスを利用するのは消費者なので大きな括りでいうと消費者行政とも言われています。消費者が安心して取引ができるよう、かつ、健全な環境のもとで事業者がビジネスできるよう消費者と事業者を守る法律です。

法の趣旨を守るためには、時に厳しい処分を事業者に課すことがあります。その場合には、どのような処分を下すのかの判断を慎重にしていかねばなりません。法の深い理解とビジネスのしくみの理解を必要とする仕事でした。

チャレンジしてください。関東経済産業局はそれができる職場です。

関東経済産業局はいろいろな仕事にチャレンジできる職場です。好奇心旺盛な方はその好奇心を満たす事ができるでしょうし、慎重なタイプの方は上司や先輩からのサポートを受けながら仕事に立ち向かえると思います。どの仕事も誰かのためになる仕事です。面白がりながら一つ一つ丁寧に仕事をしていくことで自分なりの成長実感が得られると思います。

そして職場外の方々から学ぶことや感じることが多いのも関東経済産業局の魅力の一つです。私は仕事を通して知り合った都県の方や支援機関の方、経営者の方などでご縁のある方とは仕事抜きで連絡を取りあうことがあります。みなさん尊敬できる先輩であり友人です。これからも大切にしていきたいと思っています。

期待のNew Face紹介

令和6年度採用の新規採用職員も、
既に各所属先で活躍をしています。

新規採用職員に3つの質問

Q1 どんな業務をしていますか？
Q2 志望理由を教えてください！
Q3 受験生へのメッセージ

総務企画部　総務課（行政）

❶総務企画部総務課の総括として、局内外の発注対応・各種会議の運営・問合せ対応などのほか、三陸・常磐ものネットワークに係る業務を担当しています。
❷現場の声を施策に反映させることができる点、国と地方の両方の役割を担う局の働き方に魅力を感じ、当局を志望しました。
❸はじめは不安なことばかりだと思いますが、所属をこえて多くの先輩方が見守ってくださいます。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！

総務企画部　企画調査課（行政）

❶課内調整や都県・金融機関とのやりとりを行っています。また、鉱工業指数の作成に関わるとともに、作成した指数を社会情勢と照らし合わせるなど多角的に鉱工業の動向を分析しています。
❷現場の声を伺い、地方自治体や支援機関と連携して企業の経営課題解決を支援している点に魅力を感じ志望しました。
❸それぞれの部署ならではの地域経済への関わり方がございますので、ぜひ皆様のやりたいことを探しに説明会へお越しください！

地域経済部　産業技術革新課（行政）

❶課内の取りまとめを行う総括業務のほか、法律に基づく創業支援等事業計画の認定業務、自治体の皆様からの電話対応をしています。
❷国という広い視点を持ちながらも、現場に寄り添いながら仕事をし、その声を直接政策に生かすことができる点に魅力を感じました。
❸雰囲気もよく、非常に風通しのよい職場です。優しく頼れる先輩方ばかりで、若手の意見も大切にしてくれます。皆様と一緒に働けることを楽しみにしております！！

総務企画部　政策評価広報課（行政）

❶広報係としては、定例プレスやプレスリリースに関する報道機関や各課との調整業務を行い、情報システム係としては、備品やPCの管理、新システムへ移行するための開発支援等を行っています。
❷国の機関として規模の大きい仕事ができることに加え、地域の企業にも直接関わって支援できる点に魅力を感じました。
❸優しい先輩方に囲まれ、日々成長を感じながら働ける職場です。少しでも興味のある方は、是非説明会や官庁訪問に来てください！

地域経済部　地域経済課（行政）

❶当課では各種発注対応、調整、会議運営などの部内の総括業務のほか、補助事業を活用した中堅企業の新事業展開支援にも取り組んでいます。
❷国と地域をつなぐ役割を担い、経済規模の大きい広域関東圏の地域経済の活性化に貢献したいと考え、志望いたしました。
❸1年目職員であっても主体的に業務に取り組むことができ、上司や先輩方からの手厚いサポートのもと成長できる職場環境です。まずは説明会への参加をお待ちしております！

地域経済部　地域振興課（行政）

❶課内の調整等を行う総括業務に加えて、中堅企業の新事業創出支援や自治体と局との連携基盤維持、また自治体や金融・教育機関におけるRESAS出前講座の開催等を行っています。
❷国の機関として日本全体の動向をつかみながら、その知識を踏まえて自分の住む地域の経済振興に深く携われる業務に魅力を感じました。
❸1年目からのびのびと仕事ができる環境です。業務もプライベートも充実させたい受験生の方々、当局で一緒に働きましょう！

産業部　産業振興課（行政）

❶部内の調整業務のほか、競輪・オートレース施行者からの届出の処理や施設調査、大阪・関西万博の機運醸成に向けた取組を行っています。
❷「国の政策」と「現場の声」、両方の視点を持つことができる地方局の職員という立場で、地域産業の発展・地域経済の活性化に携わりたいと思い、志望しました。
❸局内の雰囲気はとても穏やかで、働きやすい環境が整っています。是非説明会に参加し、職員の雰囲気を感じてみてください！

産業部　中小企業課（行政）

❶当課では幅広く中小企業支援を行っておりますが、特に中小企業の生産性向上を目的とした事業計画の認定業務を担当しています。
❷大学では経済学を専攻していたので、その知見をいかせる分野で働きたいと思い、志望しました。最終的には説明会や座談会での職員の方の雰囲気に魅力を感じて決めました。
❸優秀で温かい職員の方ばかりで人間関係でのストレスを感じない職場です。業務内容に興味を持った受験生の方はぜひ説明会に足を運んでみてください。

産業部　流通・サービス産業課（行政）

❶課内の調整や取りまとめを行う総括業務のほか、物流2024年問題の解決に向け、自治体や他省庁と連携した取組や、物流総合効率化法という法律の認定業務に携わっています。
❷説明会や座談会に参加した際に職員のみなさんの雰囲気がいいなと思った点と、幅広い分野の業務を経験できる点に魅力を感じ志望しました。
❸上司や先輩方がみなさん優しく、1年目からでも様々なことに挑戦できる環境だと思います。ぜひ、説明会や官庁訪問に参加してみてください！

資源エネルギー環境部　資源エネルギー環境課（行政）

❶部内の総合調整や取りまとめなどの総括業務に加え、メルマガ配信や展示会への参加といったエネルギーに関係する広報業務も行っています。
❷エネルギー分野に興味があり、国の視点を持ちながら現場の声も聞くことができるところに魅力を感じ、志望しました。
❸風通しがよく上司や先輩にも相談しやすい働きやすい職場です！少しでも興味を持たれた方は、ぜひ説明会にお越しいただき、雰囲気を感じていただければと思います！

資源エネルギー環境部　カーボンニュートラル推進課（行政）

❶課の総括として、局内発注の対応や電話・来局対応を行っています。当課は出張も多いので、先輩職員に同行して企業訪問や自治体への講演にも参加しています。
❷環境問題の解決には、環境×経済の観点が欠かせません。国の最先端でカーボンニュートラルに携わりたいという思いから、当課を志望しました。
❸充実したワークライフバランスの下、尊敬できる先輩方と仕事ができる素晴らしい職場です。ぜひ一緒に働きましょう！

資源エネルギー環境部　省エルギー対策課（行政）

❶省エネ法上の届け出の受理や報告書の審査など、工場・事業場の省エネに関する法執行・法規制業務を中心とした業務を担当しています。
❷国の機関でありながら、現場の声を直に聞ける仕事に魅力を感じました。また、業務説明会や官庁訪問時に感じた職場の雰囲気も決め手となりました。
❸「現場主義」であることや風通しの良さが当局の魅力だと思います。まずは説明会に参加して、局の業務内容・雰囲気を感じてみてください！！

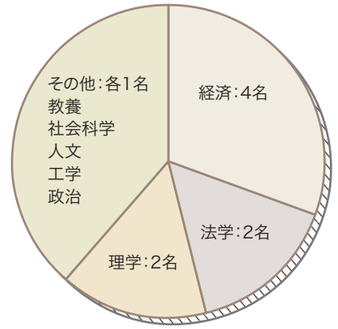
関東東北産業保安監督部 新規採用職員のご紹介

関東経済産業局と関東東北経済産業保安監督部は、合同で官庁訪問を実施しており、同部の新規採用職員もご紹介します。

関東東北産業保安監督部　電力安全課（技術（機械））

❶電気事業法に基づき、発電所に関する届出の審査業務や、立入検査、保安調査を通して発電所の保安規制に努めております。
❷大学内の公務員講座を受講している際に講師の方から関東東北産業保安監督部をご紹介いただき、業務説明会や職場見学会を通して、業務の規模の大きさに非常に魅力を感じました。
❸上司や先輩方が非常に優しく、分からないことを相談しやすい職場です。もし興味を持たれたら、ぜひ説明会にご参加ください！

Q4 出身の学部・学科はどこですか！



技術系職員の活躍

関東経済産業局では、企業の技術開発支援やエネルギー政策を実施するにあたって、理系の専門的知見が非常に重要となっています。技術系職員の活躍事例を紹介します。

産業部　消費経済課
製品安全室

平成３１年度採用・技術（建築）

Q1　技術職ならではの仕事、理系の知識が役立ったことはありますか?

以前出向していた関東東北産業保安監督部電力安全課にて、太陽光発電の担当をしておりました。太陽光発電設備の確認事項として、パネルとその土台の強度、耐久が十分にあるか、というものがあるのですが、その際に学生時代専攻していた建築の知識が役に立ちました。
もちろん役に立ったと言っても、専門的な用語等に耳馴染みがある程度でして、詳細な内容は上司からの指導や研修により教えていただくので、未経験でも安心して業務遂行ができます。

Q2　技術系職員として経済産業局に勤めることの魅力はありますか?

様々な業種、業態に触れることが出来る点、またその経験から自身のキャリアパスを選択できる点が魅力です。
多様な企業と推進（時には規制）する立場で関わっていくことは、広域関東圏を所管する関東経済産業局ならではです。
また、ある分野に特化したポストを経験しスペシャリストになる、又は幅広く分野に触れるためのポストを経験すること、どちらも選択できるため自身に合った働き方が可能です。

Q3　理系の受験生に向けてメッセージをお願いします!

組織理念である、“信頼される、存在価値のある組織”であるためには行政官の法、経済の知識だけではなく、まさに企業が扱う専門的な技術の知識をもって関わっていくことが重要です。そのような知識を持つ皆様とともに活力あふれる組織となれれば幸いです。

kanto tohoku industrial safety supervision department

関東東北産業保安監督部の業務を紹介!

関東経済産業局と同じ経済産業省の地方ブロック機関である関東東北産業保安監督部は、電力、ガス、石油コンビナート、火薬類及び鉱山に関する保安の確保を行っており、多くの技術系職員が様々な分野で活躍しています。関東経済産業局と関東東北産業保安監督部は合同で官庁訪問を実施しており、人事交流も盛んに行われています。

関東東北産業保安監督部
電力安全課　係長

平成２７年度採用・技術（林学）

関東東北産業保安監督部では、電気・ガス・鉱山・火薬・高圧ガス等に関する法令の執行を通じ、「国民の安全の確保」と「環境の保全」を図っています。その中でも私は火力発電所の保安に関する許認可などの法執行業務を行っています。時に新技術に関する相談を受けたり、現場に赴いて事故の対応を行うこともあります。
業務では専門的な知識が求められることが多いですが、現場での研修の機会や知識・経験豊富な職員も多いので、安心して業務に取り組むことができます。
未経験の課題に取り組むこともありますが、その分新しい世界を学ぶ楽しさや、産業保安の最前線に携わることができる点に魅力を感じています。

関東経済産業局の枠を超えて

関東経済産業局では、自治体、独立行政法人などへの出向や、民間企業への交流派遣制度などを通じて、外部機関での仕事を経験できます。今回は当局の枠を超えて活躍する職員を3名紹介します。

経済産業省　通商政策局
貿易振興課　技術・人材協力室

令和２年度採用・行政

技術・人材協力室では、通商経済上の技術及び人材に関する協力を所管しており、私は高度外国人材の日本企業での活躍推進業務を担当しています。
高度外国人材はグローバルでのビジネス拡大や、人材の多様化による組織の活性化、イノベーション促進等を通じ、企業の国際競争力の維持・強化において重要な役割を果たす存在であるため、足下では企業の受入れ環境整備や周知広報を行いながら、高度外国人材の受入れ促進施策の検討に取り組んでいます。本省特有の日本の枠を超えた業務に臆することもありますが、行き詰まった際には関東経済産業局で学んだ現場の視点に立ち返り挑戦することを心掛けています。
地方局を取りまとめる本省独自の視点で地方局の業務の在り方を考える機会も多く、関東経済産業局では味わえない経験が本省出向の魅力です!

茨城県　大子町　観光商工課
課長補佐

平成２７年度採用・行政

大子町は、他の多くの自治体同様に急激な人口減少や高齢化が進む中、様々な取組みを行っています。
その中で私は、管理職業務・総括業務に対応しつつ観光商工分野の振興（道の駅等観光コンテンツの整備、観光誘客、関東経済産業局と連携した事業者支援策の措置等）に取り組んでいます。局とは業務内容や公私ともに住民と近いという点で大きく異なりますが、局で培った商工分野でのノウハウや、局とのネットワークはそのまま活かすことができています。
局の業務は多分野にわたるところですが、それに加えこのような外部団体への出向により、縦と横に幅広い経験・異なる視座が得ることができている職員も多いと感じます。
様々なことに関心のある、前向きな方の応募をお待ちしております。

株式会社経営共創基盤（IGPI）
アソシエイトマネジャー

平成３１年度採用・行政

株式会社経営共創基盤（IGPI）では、企業価値向上に向けたコンサルティング・マイノリティ投資事業を手掛けており、私は経営の高度化に向けた体制構築や企業診断・事業戦略検討、人事評価制度の改革などに取り組んでいます。
持続可能な経営のあるべき姿を考えるとき、現場のリアルを把握し外部環境を踏まえながら、経営者との対話やデータの分析を通じた戦略構築の考え方、それに伴う必要な知識・スキル面など学びは多岐にわたり、日々刺激を受けています。解像度を高く現場を理解することや戦略構築の考え方を学ぶことは、国としてどのような政策を実現していくべきか、政策的枠組みや施策ツールを検討する上で大変重要な要素であると考えています。
出向先で多様な視点で業務経験を積める環境にあるのも局の魅力のひとつです。

人材育成と能力開発

関東経済産業局では、経済産業省のミッション達成のため、「組織を支える人材の育成」が不可欠であると考えています。新規採用職員として入局した後は、様々な研修制度を利用し、成長できる環境を整えています。

新人・若手職員向け研修メニューの一例

社会人としてのビジネスマナーや電話対応が不安

階層別研修（新人研修）

入局直後は、「新人研修」に参加し、経済産業省職員として働くための基礎知識のほか、ビジネスマナー（名刺交換等）や電話対応についても学ぶことができます。「新人研修」は地方経済産業局の同期と一緒に受講しますので、地方局同士の横のつながりも構築できます。

その後も、係員・係長・補佐・課長とキャリアアップに合わせて階層別の研修が用意されています。

経済・財務に関する知識が不足しているのではないかと不安

簿記研修、財務分析研修

中小企業の抱える経営課題への支援にあたって、企業会計の基礎となる簿記や財務に関する知識を備えることは強みになります。当局では、希望者を対象に簿記・財務分析のe-ラーニングや研修を実施していますので、積極的にご利用ください。

企業の方とコミュニケーションを取れるか不安

現場主義実践研修

各種政策の企画立案にあたっては、地域企業の実態を理解することが重要です。当局では、職員が備えておくべき力として、地域の「現場」、特に地域企業の生の情報を収集し、課題を分析する力を重視しています。本研修は、企業分析の手法や企業訪問時のビジネスコミュニケーションを学び、企業ヒアリングを実践することを通じて地域企業の課題解決に取り組む上で必要となる課題把握能力やヒアリングスキルの向上を目指します。企業の代表者と直接対話できる機会として好評です！

民間企業派遣研修

入局７年目以降の職員を対象に実施している研修です。実際に民間企業に身を置いて、企業の経営理念や効果的な経営手法の実態に触れ、学ぶことにより、産業界の実態やニーズを理解し、今後の政策に反映させていくことを目的として実施しています。3週間程度にわたり一社員として受け入れていただくため、重要な経営会議への同席や、営業訪問の同行、製造現場での実習など、企業により多様な経験ができます。

トレーナー制度・メンター制度のご紹介

関東経済産業局では、一人の新人職員につき「トレーナー」及び「メンター」を配置し、組織全体でしっかりと成長をサポートする体制をとっています。ここではトレーナー・メンター それぞれの役割をご紹介します。

トレーナー制度

トレーナーは、新人職員の「育成の責任者」です。基本的に配属課の先輩職員から選定され、OJT（＝実務の中で知識やノウハウを習得させること）により、１対１で指導・助言を行います。

計画的に指導を進めるため、期初には新入職員とトレーナーとが話し合って目標を策定。期末に向けて振り返りを行いつつ、目標達成を一緒に目指します。

新規採用職員の声

- 席が近いため、業務上の不明点をすぐに相談することができ、丁寧に指導いただいています。定期的に行われる面談では的確なアドバイスをいただき、業務の見直しや新たな気づきにもつながっています。
- 身近な手本として、日々の行動や業務への取組など成長の方向性を意識するきっかけになっています。

メンター制度

メンターは職場環境での生活や業務上の悩みを相談できる存在です。直属の上司であるトレーナーに対し、メンターは配属課とは別の、比較的年齢の近い先輩職員から選定されます。

メンターとは定期的にコミュニケーションを取ったり、随時、相談に乗ってもらうことができます。

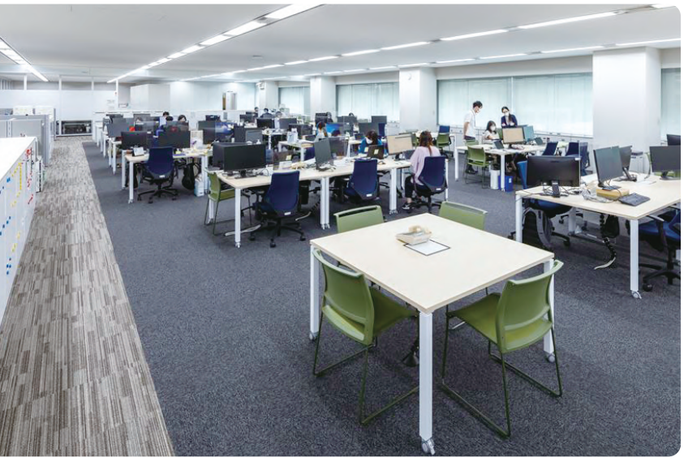
- 同じ部内で年齢の近い先輩職員がメンターとなるため、仕事やプライベートのことを気軽に相談することができます。
- ランチに誘ってもらったり、困っていることがないか声をかけてもらったりと、大変心強い存在です。

主な研修メニュー

		新人職員	係員	係長	課長補佐	管理職
目　標		1～6年目 まずは先輩職員の下で、職員としての基礎を身につけます。		7年目～ 政策の実行、企画立案の中心的役割を担います。外部出向のチャンスもあります。	これまでの経験を活かし、エキスパートとして、また、チームリーダーとしての役割を期待されます。	部下のマネジメント、対外的な発信などが多くなり、大きな責任感を求められます。
階層別研修 （国家公務員として求められるスキル・知識を習得し、高い使命感・倫理観をもって職務を遂行できる）		新人研修	2年目研修	係長研修	課長補佐研修	管理職研修
		国家公務員服務規律・情報セキュリティ・個人情報漏えい防止研修				
局全体の力を高めるマネジメント力／リーダーシップを身につける	心構え	OJT		中堅係長・中堅課長補佐研修		新任管理職・管理職研修
		先輩職員のスキル・ノウハウ承継に資する研修プログラム			総括補佐研修	
		「キャリア」を語る座談会				
現場の課題・ニーズを的確に捉え施策の立案や遂行に結びつける	現場感覚	現場主義実践研修、企業経営者との対話				
			民間派遣研修			
	政策ツール	本省業務基礎研修（予算・会計・税・法律・国会）		伴走型支援研修		
幅広い視野や様々な知識を身につけ課題に対応する	発信力	局内施策説明研修		広報研修		
	ベーススキル	英語力向上支援（TOEIC試験）				
		簿記・企業財務・業務効率化研修（PCスキル等）				
		プレゼン資料作成				
	専門性	政策分野別専門研修（本省主催）				
様々な知識・経験の蓄積により、多様化する業務に対応する	国際感覚			国際業務研修、海外留学		
	現場感覚	東日本3局合同研修				
			民間派遣研修（再掲）			
		福島・第一原発見学研修・被災地支援報告会				
		多様なテーマによるフォーラム、BBL、自主企画勉強会				
		講座等受講補助制度（関東局版学び支援制度）				

働きやすい職場を目指して

関東経済産業局では、働きやすい環境作りのため、様々な取り組みを行っておりますので、その一端をご紹介します。



働き方が多様になるなかで、業務効率化や生産性向上を目的に、オフィス環境を見直し、働きやすい職場作りを行っています。

テレワーク環境整備

仕事といえば、職場に出勤して行うものでしたが、近年はICTを活用して、在宅で勤務をする働き方（テレワーク）も一般的になってきました。

当局では、１人の職員に対して１台のPCを貸与し、自宅においても、職場と全く同じ環境で仕事をすることができます。組織として、オンライン会議システムやビジネスチャットツールも積極的に取り入れることで、多くの職員がテレワークでも効率的に業務を行えています。

テレワーク実施者の声

- 通勤時間が短縮されるため、子育ての時間に充てることができています。
- オンライン研修などはテレワークで参加することで、集中して受講することができます。

職員の成長機会の整備

職員が自らテーマを設定し、オンラインで実施する自主企画勉強会を開催したり、職員の経験・スキルの伝承など組織活性化と働き方改革推進を目的に、所属課室とは別の課室の業務にも参加する局内兼業プロジェクトを実施したりすることで、職員自身の成長の機会を提供しています。

局内兼業プロジェクト参加者の声

- 本務とは別に、経営者の魅力発信記事の連載企画に参加しています。私が担当した記事（QRコード参照）では、取材調整から執筆、イベント登壇の企画まで任せてもらい、本務とは違った達成感や成長実感を得ることができました。

ワークライフバランス
～育児や介護と仕事の両立～

関東経済産業局では、ワークライフバランスの実現に向けて、様々な支援制度をご用意しています。今回は、実際に制度を活用した職員の事例も交えてご紹介します。

利用者の声

産業部　製造産業課
航空宇宙・自動車産業室　係長

平成２５年度採用・行政

この職場は、育児と仕事のバランスを取るための制度が整っているだけでなく、その制度を活用しやすい環境だと思います（職場の皆様の多大なるサポートに感謝！）。

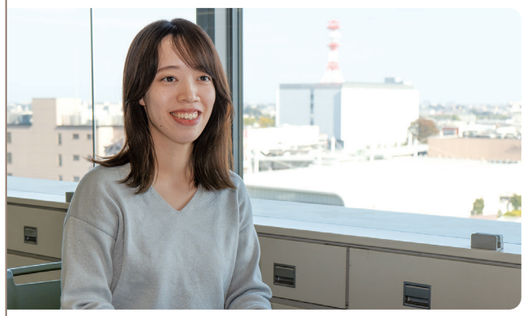
私は1歳の女の子を育てる父です。子が生まれる直前になっても具体的な育児・仕事のバランスの取り方がまとまらない中、人事係は各種育児支援策の紹介だけでなくそれら制度を活用した両立計画立案サポートをしてくれました。また、上司・同僚の「産後の奥さんをしっかり支えてあげて！」と温かい言葉の後押しもあり、2ヶ月間の育児休業を取得しました。

復職後も生活サイクルの変化・突発事象発生の連続ですが、私の場合、特にテレワーク環境をフル活用して対応しています。メール・チーム内チャット・スケジュール共有・業務ファイル共有等により、日頃からリアルタイムで上司や同僚と案件の進捗共有等を行うことで、お互いがフォローできるよう心がけています。

是非当局の就職説明会では職員の働き方について質問してみてください。

資源エネルギー環境部
ガス事業課　係長

平成２８年度採用・行政



私は1歳の男の子を子育て中のママ職員です。

産休・育休を約1年半取得し、現在はフルタイムで勤務しています。

朝は夫が保育園の送りを担当し、私は7時半からの少し早めの勤務とすることで、出勤日でも16時頃には保育園のお迎えができ、終業後も子供と公園に行く等充実した生活ができています。また、フレックスタイムや育児時間、テレワークなども活用し、予定のある日は業務時間を短くしたり、自宅勤務にしたりと育児と両立させながら、フルタイムでも柔軟に働くことができています。

当局は、育児支援制度を活用している職員がとても多く、子育てに対する理解が浸透しており、子育て中の職員にとって非常に働きやすい職場だと感じます。

子供の急な発熱でお休みしてしまうこともありますが、上司からは「申し訳なく思う必要は全くないよ、同じ立場になった後輩をいつかサポートしてあげてね」と言っていただけ、周りの方々のサポートのおかげで無理なく仕事ができています。

「男の育休」取得率　100%

「男の育休」とは、男性職員が子どもの出生後１年以内に１ヶ月以上、育児に伴う休暇・休業を取得する政府の取り組みです（令和２年度開始）。※令和５年度に子どもが産まれた男性職員を対象にしています。

女性職員の育休復職後の就業継続率　100%

多くの女性職員が短時間勤務制度なども活用し、育児休業から復職した後も仕事と育児を両立しています。※令和元年度～５年度に育児休業から復職した職員を対象にしています（令和７年１月時点）。

職員の1日

職員が実際にどんな1日を過ごしているのか、職員の1日を紹介します!

地域経済部　地域経済課 ヘルスケア産業室

令和５年度採用・行政

当室では、ヘルスケア企業と自治体との連携を促進し、地域の健康課題解決とヘルスケア産業の振興の両立に取り組んでいます。

直接現場に伺うことも多く、企業の製品・サービスの見学や熱意を持った方たちとの議論を通じて、日々刺激をもらっています。

- 7:30 **起床**
- 8:30 **業務開始**
  11時から都内で企業ヒアリングのため、10時までテレワークを行い、現地に向かいます。
- 11:00 **ヘルスケア企業へのヒアリング**
  翌年度の当室の施策を検討するため、企業の抱える課題や求める支援についてヒアリングを行いました。
- 12:00 **昼食**
  外勤先のランチを開拓するのが密かな楽しみです。昼食後は局に戻ります。
- 14:00 **地方経済産業局との打合せ**
  当室が企画しているセミナーについて、共催する先の地方経済産業局と打合せを行い、内容やスケジュールについて調整しました。
- 16:00 **企業訪問の資料作成**
  外勤後はヒアリングのメモを作成します。
  記録として残すものになるため、企業の課題や支援ニーズのポイントが読み手に伝わりやすいような資料作りを心がけています。
- 17:15 **退庁**
  今日は職場の先輩方との飲み会のため、これで退庁します!
  急な業務が発生した時は少し残業するなど、メリハリを持って仕事をしています。

private

１人でゆっくりしたり、友達と出かけたりなど…充実した日々を過ごしています。

プライベートでも職場の同期をはじめ、若手職員で定期的に遊びに行くことがあり、写真は同期全員でバーベキューをしたときのものです!

産業部　製造産業課

令和４年度採用・技術（土木）

私は製造産業課にて、中小企業の研究開発を支援する補助金（Go-Tech事業）の執行業務を行っております。補助金の適切な執行という観点で細かく確認を行う必要がありますが、事業者との関わりの中で仕事のやりがいを感じる場面も多いです。

- 6:30 **起床**
- 8:00 **業務開始**
- 9:00 **事業者からの問い合わせ対応**
  メールや電話で補助事業に関する問い合わせに対応します。
- 10:00 **交付申請に向けた事業者との打ち合わせ**
  事業者が補助金の交付申請をする前に、当局と打ち合わせをして、研究開発事業の内容や対象経費の確認を行います。正式に交付申請がされたら、当局が交付決定を行い、補助事業開始となります。
- 12:00 **昼食・移動**
  庁舎周辺で昼食を取り、午後の委員会に向けて移動します。
- 14:00 **研究開発推進委員会に出席**
  補助事業の関係者が集まり、研究開発の進捗等に関する情報交換を行います。様々な分野の研究開発の一端に触れることが出来るのがこの仕事の醍醐味の一つだと思います。
- 17:00 **帰宅**

private

仕事終わりには映画を見たり、休日は同期や友人と遊ぶことが多いです。（写真は沖縄に行った時のもの）ただ最近は、体力の衰えを日々感じるので、ジムでも行って運動しないと!と思っています。（と言い続けて早１年です（笑））

よくある質問

Q 手当について

A 住居手当（月額最高28,000円）のほか、通勤手当、扶養手当等※が支給されます。
※令和７年４月より、扶養手当の見直し、通勤手当の引上げ・支給要件拡大等が予定されております。詳細は人事院のホームページ等をご確認ください。

Q 休日・休暇について

A 完全週休２日制です（土日・祝日）。年次休暇は年間２０日（4/1採用の場合は１５日）付与され、年末年始（12/29～1/3）や夏季休暇（連続３日）、その他育児や介護のための休暇等も各種ご用意しています。

Q 勤務時間について

A １日あたり７時間45分です。複数の出勤段階からご自身で選択可能です（時差出勤）。育児や介護等のために柔軟な働き方ができるよう、フレックス勤務等の制度もご用意しています。

Q 勤務地について

A 以下２つの事務所があり、９割以上の職員がさいたま市の庁舎にて勤務しています。その他、経済産業本省・地方公共団体・経済産業政策と関連のある機関等に出向する場合もあります。

- 関東経済産業局
  （埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1）
- 横浜通商事務所
  （神奈川県横浜市中区新港一丁目6番1号）

Q 人事異動について

A 各人の能力を十分に発揮できるように、毎年、職員から配属に関する希望調書をとり、適正等を勘案して総合的に判断して決めています。2～3年くらいの割合で人事異動があり、多くの業務に携わる機会があります。

Q 採用の流れについて

A 国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）を受験し、当局に官庁訪問を行ってください。
令和６年度においては、以下のとおり実施しましたが、受験する年度によって異なりますので、
詳細は人事院のホームページ等をご確認ください。

第一次試験 → 第一次試験合格発表 → 官庁訪問 → 第2次試験（人物） → 最終合格発表 → 採用内定

Q 採用人数について

A 過去５年間の採用人数は以下のとおりです。※関東経済産業局及び関東東北産業保安監督部あわせての実績です

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総数（うち女性）	16人（6人）	12人（2人）	11人（7人）	11人（4人）	13人（5人）
行政系	11人	9人	9人	8人	12人
技術系	5人	3人	2人	3人	1人

Q 今後の説明会の予定について

A 随時説明会等の開催を予定しております。
メールマガジンでもご案内しておりますので、以下HPよりご登録ください。
https://www.kanto.meti.go.jp/mailmagazine/saiyo_melmaga.html